

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進むなか、個人消費や設備投資において持ち直しの動きがみられ穏やかな景気回復が続きました。

このような経営環境のもと、当社グループは、主力とする調剤薬局事業におきましては、安全性を最優先としつつ「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた取り組みを進めております。ヘルスケア事業におきましては、上期に続いて有料老人ホームの継続的な入居者確保を推進し、事業規模および収益拡大に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高23,158百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益1,164百万円(前年同期比41.8%増)、経常利益1,124百万円(前年同期比44.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,051百万円(前年同期比67.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、前期にグループ会社化した子会社および前期、当期出店の3店舗の寄与により、売上高は16,830百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益面では原価管理の強化を図ったことにより、営業利益1,311百万円(前年同期比16.8%増)と増益となりました。

#### ② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、有料老人ホームの継続的な入居者確保、および平成28年9月にグループ化したウェルフェア株式会社が寄与し、増収増益となりました。この結果、売上高4,448百万円(前年同期比20.2%増)、営業利益293百万円(前年同期比105.7%増)となりました。

#### ③ 医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、三重県、岐阜県、滋賀県および愛知県を中心に積極的な営業活動を行った結果、増収増益となりました。この結果、売上高1,783百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益88百万円(前年同期比70.8%増)となりました。(内部売上を含む売上高は2,421百万円となり、前年同期比で13.3%増加しました。)

#### ④ 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高96百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益52百万円(前年同期比15.3%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益および投資その他の資産の売却益530百万円を計上しております。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。